

第2期熱田区将来ビジョン

(令和6年度～令和10年度)

熱田区のシンボルマーク

アツタ区の「ア」をデザイン化したもので、上部の矢先で区の発展を、下部の円形で区民の連携と和を表したものです。



熱田区の花 ハナショウブ

花ことば:うれしい知らせ
白鳥庭園、神宮東公園などで見られます。



熱田区の木 クロガネモチ

花ことば:魅力、寛容
沢上交差点、神宮東公園などで見られます。



熱田ブランドマーク

熱田の「a」と熱田の歴史を年輪で表現したマークで、区の魅力を一体的に発信しています。

君を待つまち 熱田



区政へのご意見やご提案、「こんな熱田区にしたい」など、皆さまのご意見をお寄せください。

熱田区役所区政部企画経理課

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号
TEL 052-683-9688 FAX 052-682-1496
E-mail a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp

名古屋市熱田区役所



SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)とは、持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標のことです。健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17の目標を令和12(2030)年までに達成することをめざしています。

名古屋市は、SDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する「SDGs未来都市」に選定されており、市民、企業、NPOなど多様な主体を巻き込みながら、取り組みを進めています。

はじめに

このたび、熱田区のめざす姿を実現するための中長期的な計画として、令和6年度から10年度の5年間に取り組む内容をまとめた「熱田区将来ビジョン」を策定しました。

熱田区は古くからの歴史が残るとともに、自然環境にも恵まれた魅力あふれるまちです。

一方で、年々進む少子化・高齢化やライフスタイルの多様化、災害への懸念などが社会全体の課題となっており、熱田区においてもその例外ではありません。

このまちに住む人々が安心・安全な状況のもとで、互いに支えあいながら、生きがいをもって暮らしていくためには、区役所や関係機関の働きはもとより、日頃、地域の皆さまに支えていただいているさまざまな活動が欠かせません。

地域の皆さまのご意見をしっかりと聞きながら、将来ビジョンに掲げた3つの将来像に向かって、「住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田」の実現をはかってまいりますので、引き続きのご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

目次

1 熱田区の概要	1
(1) 区の地勢	1
(2) 人口と世帯数	2
(3) 犯罪・交通事故の発生状況	3
(4) 災害被害の想定	4
(5) 少子化・高齢化の進行状況	5
(6) 区民の皆さまからいただいたご意見	7
2 熱田区の将来ビジョン	8
[将来像1] 安心・安全で快適に暮らせるまち	10
[将来像2] 人が支え合い、自分らしく暮らせるまち	13
[将来像3] 生きがいや活力を感じ、魅力あふれるまち	19
[区政運営] 住民に身近で質の高い行政サービスの提供	22
3 区内公所(署)との連携	23

1 熱田区の概要

(1) 区の地勢

- 名古屋市のほぼ中央南部に位置し、名古屋城を北端とする熱田台地とその周辺の低地の上に位置している
- 名古屋城築城のためにつくられ、城下町の発展を支えた堀川が区の中央を流れている
- 江戸時代には東海道の41番目の宿場「宮宿」として街道一の賑わいをみせた
- 熱田神宮や断夫山古墳、源頼朝の誕生の地や由緒ある神社仏閣、交通の要衝であったことをしのばせる道標や宮の渡しの常夜灯など歴史的資産が豊富に存在する
- 国際会議・式典・コンサートに利用される名古屋国際会議場や四季折々の姿で憩いの場となっている白鳥庭園がある
- 金山総合駅からの中部国際空港へのアクセス、同駅から区内に伸びる地下鉄・JR・名鉄の各駅、国道1号線をはじめとする幹線道路などにより交通の利便性が高い



(2)人口と世帯数

①面積・人口・世帯数

面積(小さい順)						(単位: km ²)	
1	2	3		14	15	16	全市
東区	熱田区	中区		守山区	緑区	港区	
7.71	8.20	9.38		34.01	37.91	45.69	326.50

人口(少ない順)						(単位:人)	
1	2	3		14	15	16	全市
熱田区	東区	中区		守山区	中川区	緑区	
67,084	86,711	99,348		176,854	217,934	247,701	2,326,683

世帯数（少ない順）

(単位:世帯)

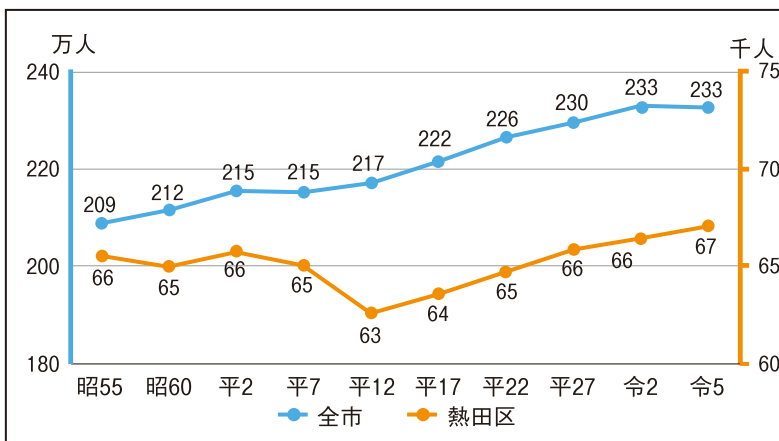
1	2	3		14	15	16	全市
熱田区	東区	瑞穂区		千種区	中川区	緑区	
35,021	47,946	52,361		88,652	103,739	104,252	

1,156,744

面積は2番目に小さく、人口と世帯数は1番少ない区です

面積：(令和5年10月1日現在) 国土地理院「全
国都道府県市区町村別面積調」より
人口・世帯数：(令和5年10月1日現在) 市推計
人口より

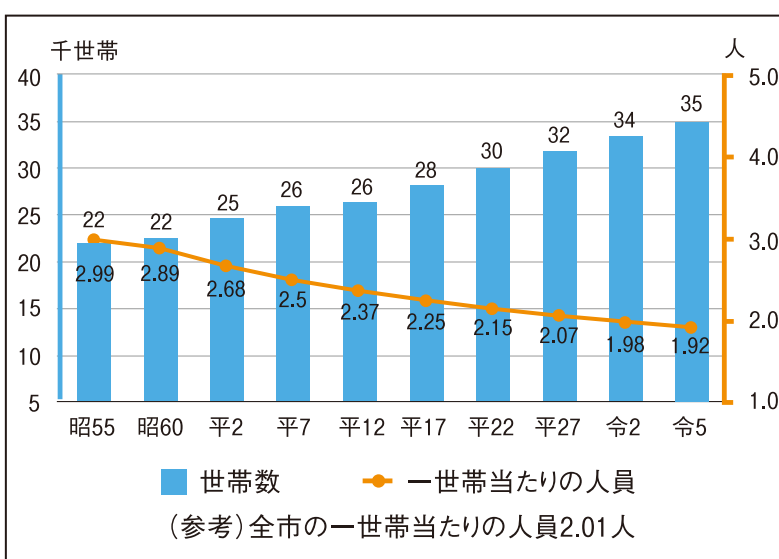
②人口推移



熱田区の人口は、ほぼ横ばいで推移しています
市全体としてはいよいよ減少局面に転じようとしています

(各年10月1日現在)国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計している

③熱田区の世帯数と一世帯あたりの人員の推移

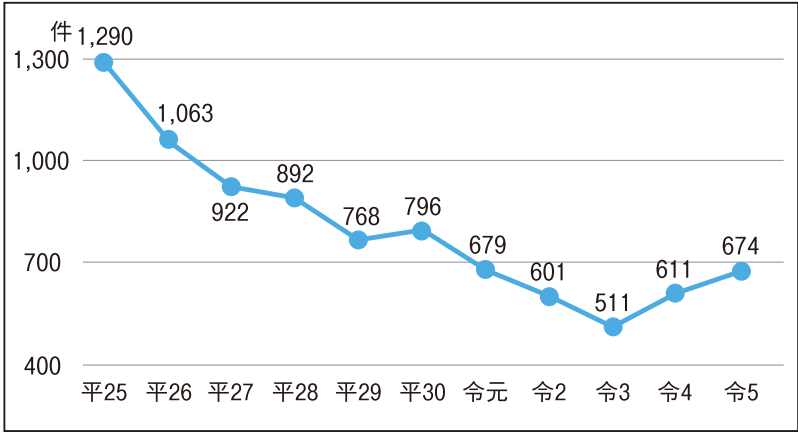


世帯数は増加傾向にあり、一世帯あたりの人員は減少しています
少子化の進行や単身世帯、核家族世帯の増加がうかがえます

(各年10月1日現在)国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計している

(3) 犯罪・交通事故の発生状況

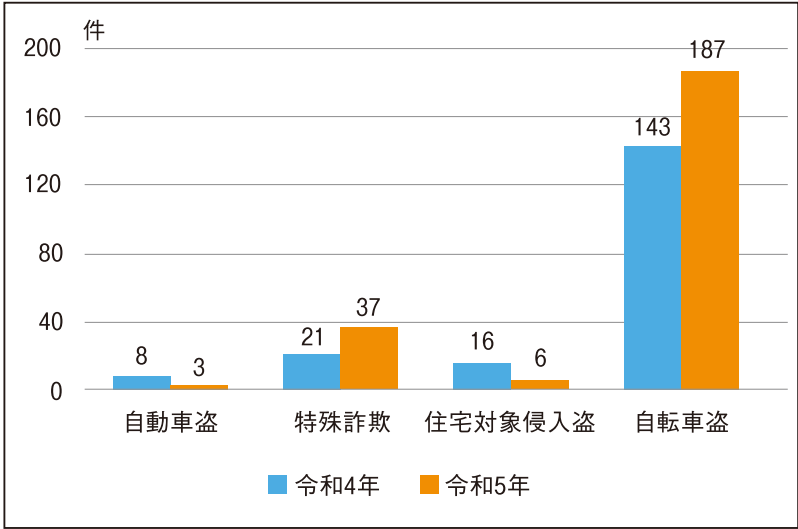
① 熱田区の刑法犯認知件数の推移



刑法犯認知件数はおおむね減少傾向をたどっていましたが、コロナ禍からの活動の再開とともに令和4年以降、増加しています

令和5年度名古屋市犯罪抑止対策(熱田区版)より

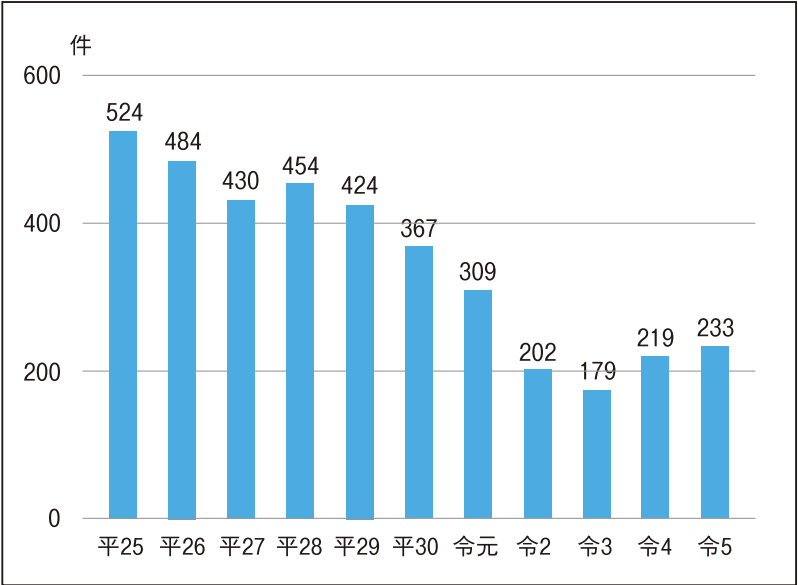
② 熱田区の犯罪発生状況



最近の傾向を犯罪種別で見ると、特殊詐欺や自転車盗が増加していることがわかります

令和5年度名古屋市犯罪抑止対策(熱田区版)より(特殊詐欺の件数は暫定値)

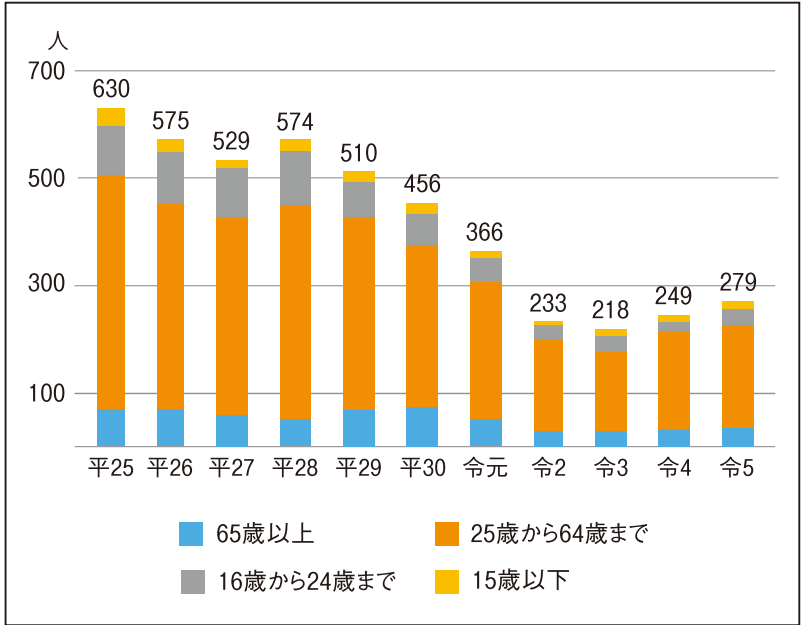
③ 熱田区の交通事故(人身事故)件数の推移



人身事故件数は減少傾向にありましたが、コロナ禍からの活動の再開とともに令和4年以降、増加しています

愛知県の交通事故発生状況 令和5年中(愛知県警察本部交通部)より

④ 熱田区の交通事故死傷者数の推移



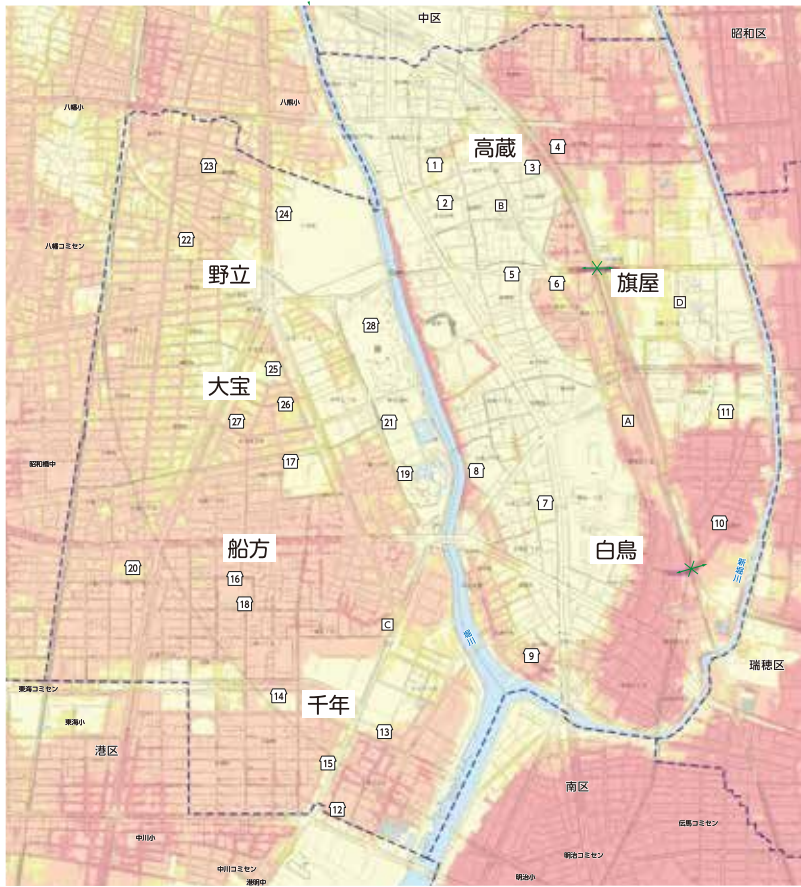
交通事故死傷者数についても減少傾向にありましたが、令和4年以降、増加しています

また、年齢別にみても、令和5年は全ての年齢層で前年から増加しています

愛知県の交通事故発生状況 令和5年中(愛知県警察本部交通部)より

(4) 災害被害の想定

内水氾濫ハザードマップ(熱田区)



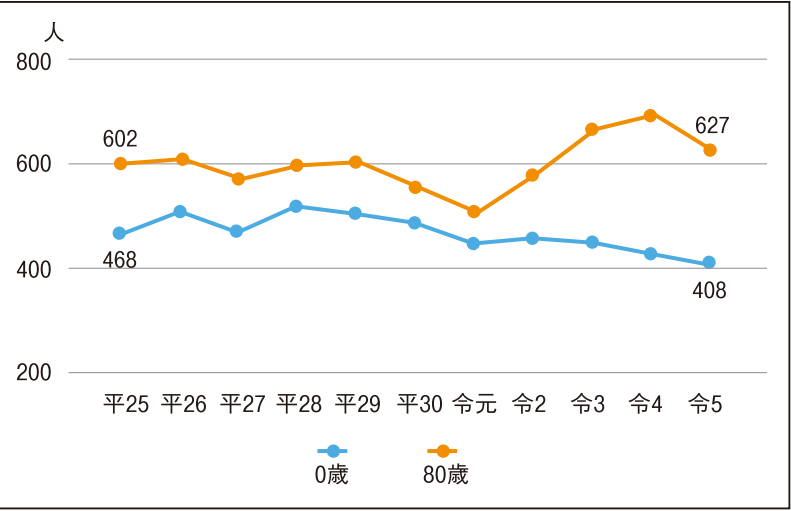
近年、全国各地で激甚な災害が発生していますが、大雨等による内水氾濫が発生した場合、左図のような浸水被害の発生が想定されます

なお、令和4年度末には風水害や地震・津波などすべての災害を掲載した新しいハザードマップを全戸配布しました

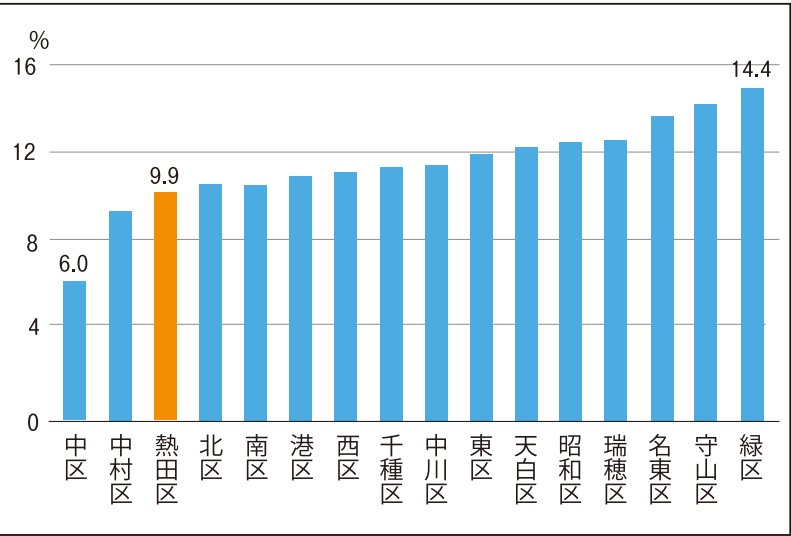
令和2年度末の各施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨により、下水道・中小河川等が氾濫した場合に想定される浸水区域と浸水深

(5) 少子化・高齢化の進行状況

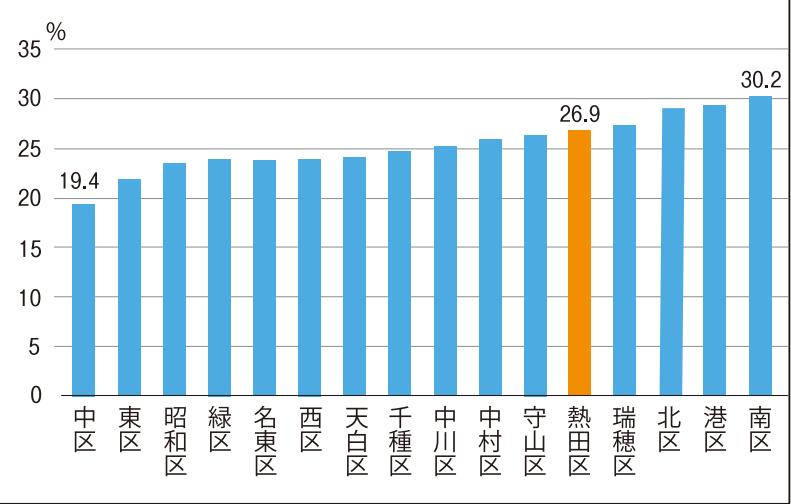
① 熱田区の人口の推移(0歳と80歳)



② 人口に占める0～14歳の割合



③ 人口に占める65歳以上の割合



令和元年以降、80歳人口が増加傾向にある一方で、出生数は減少しており、今後、団塊の世代が80歳を迎えることから、その差はますます大きくなっていくことが見込まれます

(各年10月1日現在)国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計している

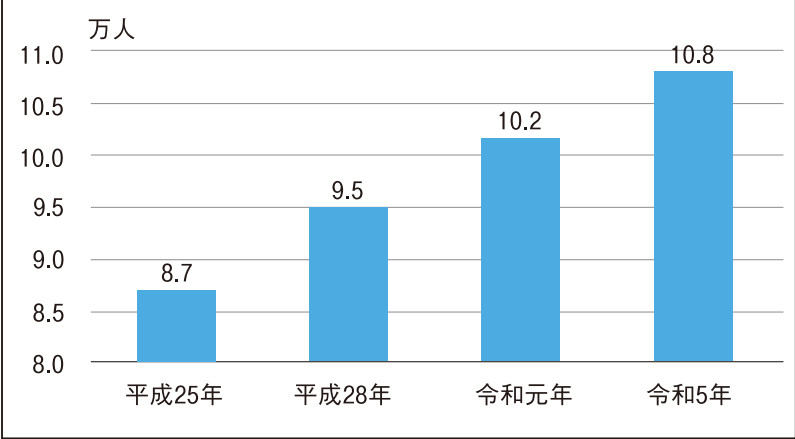
熱田区は16区で3番目に0～14歳の占める割合が低く、少子化の特徴があらわれています

(令和5年10月1日現在)市推計人口より

熱田区は16区で5番目に65歳以上の占める割合が高く、高齢化の特徴があらわれています

(令和5年10月1日現在)市推計人口より

④ 名古屋市のひとり暮らし高齢者数



名古屋市のひとり暮らし高齢者数はますます増加しています

(各年10月1日現在)市「ひとり暮らし高齢者の認定基準」に基づく調査等により把握している人数

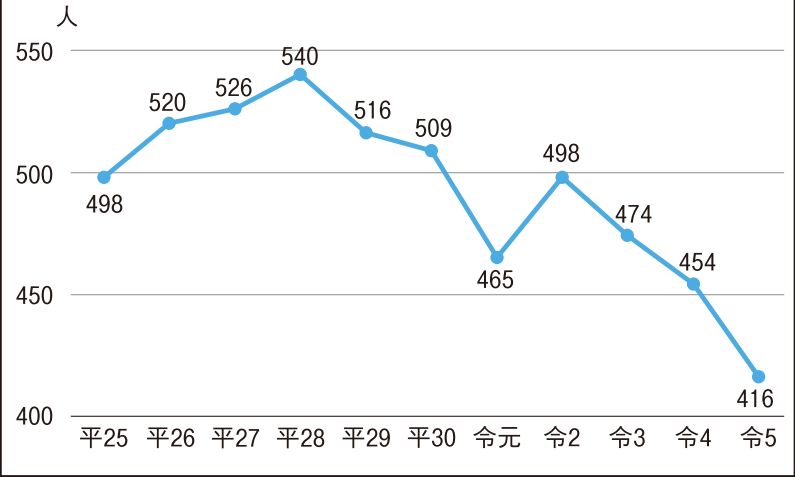
⑤ ひとり暮らし高齢者比率

(単位:%)					
1	2	3	4	5	全市
中区	北区	中村区	熱田区	千種区	
22.6	21.4	20.8	20.1	19.9	

熱田区は65歳以上の高齢者のうち「ひとり暮らし高齢者」の占める割合が、16区で4番目に高くなっています

(令和5年10月1日現在)令和2年国勢調査確定値に基づく推計人口及び市「ひとり暮らし高齢者の認定基準」に基づく調査等により把握している人数

⑥ 熱田区の出生数の推移



近年における出生数は平成28年をピークに年々減少しており、令和2年に一旦増加へ転じたものの、再び減少傾向となり、令和5年は前年に比べ38人減少しました

熱田区役所「熱田区の世帯数と人口-令和5年人口動向調査-」より
※各年 前年10月1日～当該年9月30日

(6)区民の皆さまからいただいたご意見

区民の皆さまのご意見を区政運営に反映するために毎年、区民アンケートを実施しています。

令和5年度のアンケートでは、「安心・安全で快適なまち」、「子育て」、「青少年健全育成」、「高齢者・障害者」の各分野において力を入れて取り組むべき課題についてご回答いただきました。

引き続き、毎年度のアンケートで将来ビジョンの進捗状況をはかるとともに、区民の皆さまのご意見、ご要望を把握し、区政運営に反映していきます。

①アンケートの概要

調査の対象	区内居住の18歳以上の男女1,200人
調査対象抽出方法	無作為抽出法
調査期間	令和5年6月23日～7月13日
回収人数(回収率)	501人(41.8%)

②アンケート結果(力を入れて取り組むべき課題 上位3項目)

「安心・安全で快適なまち」であるために、力を入れて欲しいこと		「子育てがしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいこと	
①防犯パトロールや防犯灯設置などの防犯活動	71.3%	①保育所や地域の子育て支援に関する情報提供	66.5%
②公園や歩道などの清掃活動	51.1%	②子育ての仲間づくりの支援	38.1%
③通学路や交差点などでの交通安全活動	36.7%	③子育ての相談	37.1%
「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」であるために、力を入れて欲しいこと		「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいこと	
①地域の見守り活動	57.3%	①地域の見守り活動	54.3%
②青少年をトラブルから守るための啓発	42.5%	②仲間づくりの場	41.9%
③子どもと地域の大人との交流の場	38.7%	③認知症への正しい理解をしてもらうための啓発	39.3%

2 熱田区の将来ビジョン

●区将来ビジョン(中長期的な計画 計画期間:令和6年度～令和10年度)

区将来ビジョンとは、平成29年3月に名古屋市が策定した「区のあり方基本方針」に基づき、住民参画のもと、各区が策定する個別計画であり、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したものです。

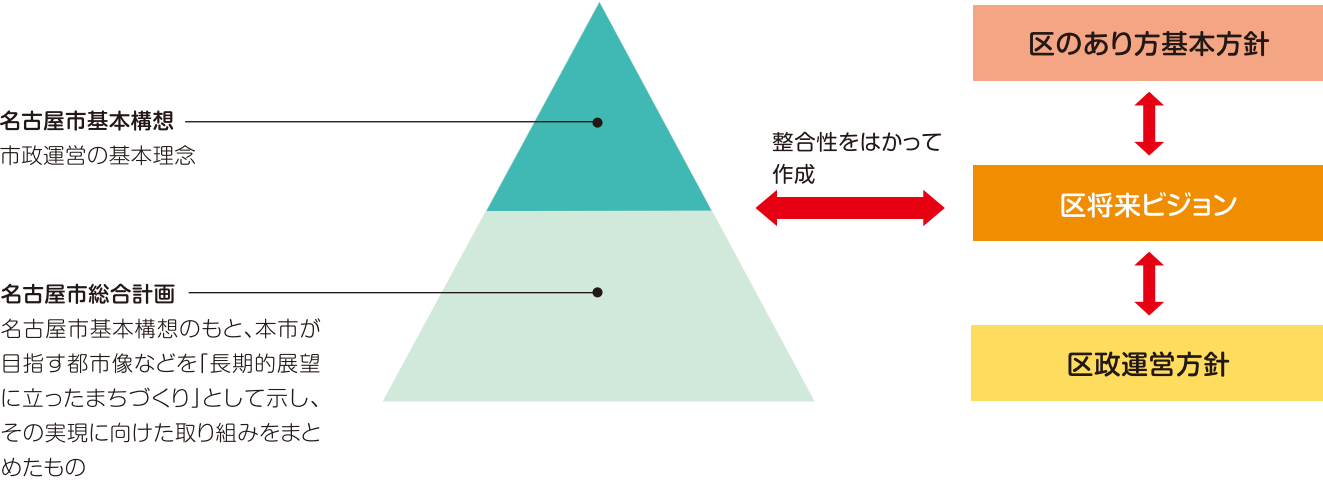
「熱田区将来ビジョン」を策定するにあたり、名古屋市総合計画との整合性をはかるとともに、熱田区区民会議などで区民の皆さまからご意見をいただきながら、地域特性や課題の把握に努め、区のめざすべき姿や展開していく施策などについて検討しました。

●区政運営方針(毎年度の具体的な取り組み)

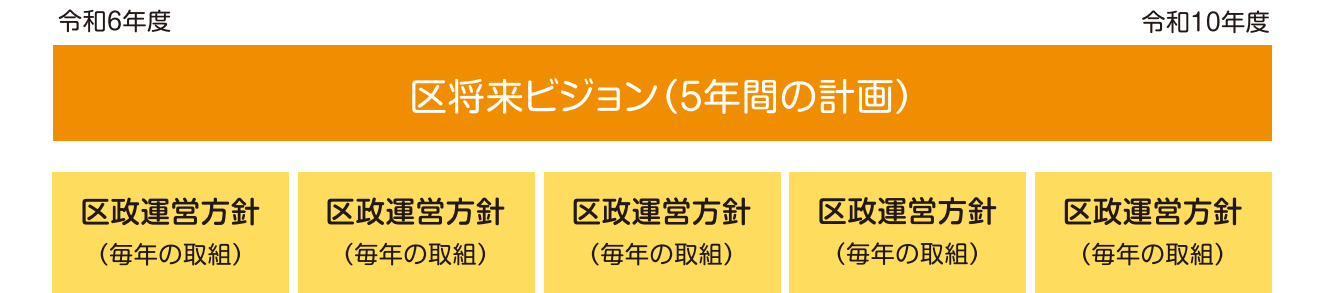
区将来ビジョンで取りまとめた中長期の施策に基づき、年度ごとの具体的な取り組みを区政運営方針として計画し、毎年5月に皆さまにお知らせするものです。

区将来ビジョンに掲げた成果指標の進捗状況についても、この区政運営方針でお知らせします。

名古屋市総合計画と区将来ビジョンとの関係



区将来ビジョンと区政運営方針との関係



〈めざす将来像〉

将来像1 安心・安全で
快適に暮らせるまち

犯罪や交通事故の抑止、地域防災力の向上、まちの環境美化を推進し、区民の皆さまが不安なく安心・安全で快適に暮らせるまちをめざします。



将来像2 人が支え合い、
自分らしく暮らせるまち

子どもから高齢者、障害のある方など、地域のさまざまな人が交流と支え合いを通じて、いきいきと自分らしく暮らせるまちをめざします。



将来像3 生きがいや活力を感じ、
魅力あふれるまち

学びを通じた生きがいづくりや区民相互の交流を深める地域活動、熱田の観光資産を活かしたまちづくりを通じて、魅力あふれるまちをめざします。



区政運営 住民に身近で質の高い
行政サービスの提供

区民のニーズを捉えて日々の業務を改善し、皆さまにとってより身近で利用しやすく、質の高い行政サービスを提供できるよう努めます。



将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち

施策1 犯罪や交通事故がない、安心して安全なまちづくりを進めます

現状・課題

● 区内の犯罪・交通事故の発生状況(令和5年)

区 分	刑法犯認知件数	交通事故死者数	人身事故件数
数 値	674件	0人	233件
前 年 比	63件増	±0人	14件増

- 刑法犯認知件数のうち、特殊詐欺、自転車盗などが増加している(令和5年)
- 特殊詐欺による実質被害総額は約6,600万円で、前年より3,000万円以上増加している(令和5年)
- 人身事故件数が増加しており、四輪車や自転車が当事者になる事故の割合が高い(令和5年)

取り組み内容

防犯対策

被害が多い犯罪実態に合わせて対策を策定し、地域の皆さまや警察署と連携しながら啓発活動に取り組みます。



防犯講話

交通安全対策

高齢者をはじめ未就学児、小学生、中高生など年代に合った啓発を地域の皆さまや警察署と連携して取り組みます。



しっかり守ろう! 自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先



- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認



- 3 夜間はライトを点灯



- 4 飲酒運転は禁止



- 5 ヘルメットを着用



施策2 地域防災力の向上に取り組みます

現状・課題

- 家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄など）をしている人の割合は約6割であった（令和5年度熱田区区民アンケート）
- 近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえて、想定し得る最大規模の浸水や地震・津波のハザードマップを令和4年度に全戸配布した
- 近い将来、発生が想定される南海トラフ地震をはじめ、さまざまな災害の被害をより軽減するには、日頃から住民同士で助け合いながら地域防災力を高めるとともに、地域団体や災害ボランティア団体、事業者、区内公所（署）、消防団との連携のもと、災害に強いまちづくりを進める必要がある

取り組み内容

自助力の向上

災害に備えて、自宅の耐震対策や家具の転倒防止、備蓄など自分で自分や家族を守る自助力の向上を促進します。



共助力の向上

自主防災組織単位の防災訓練や総合防災訓練、地区防災カルテを活用した訓練などを通じて共助力の向上に取り組みます。



公助力の向上

区災害対策本部の機能強化のための訓練や災害ボランティア団体、消防団と連携した訓練など公助力の向上に取り組みます。



区本部災害応急対策図上訓練



皆さんの寝室は大丈夫ですか？

早朝に発生した阪神・淡路大震災では、亡くなられた方の約8割が家屋や家具による圧迫・窒息が原因でした。
寝室の家具の転倒防止やレイアウトの見直しをしましょう！



施策3 きれいで快適なまちづくりを進めます

現状・課題

- 町を美しく保っていくためには、地域住民や企業、行政などさまざまな主体がそれぞれの立場で町の美化を目指す活動に取り組むことが重要
- 人とペットが快適に共生するために、ペットの飼い方マナーの向上が求められる。また、ペットを適切に飼うことで地域社会に受け入れられ、災害時の対策にもつながる

取り組み内容

町を美しくする運動

地域の皆さまや大学との協働による清掃活動、空地・空き家の適正管理の呼びかけ、ごみ屋敷対策に取り組みます。



ペットの適切な飼い方の啓発

地域の皆さまとの協働でペットの飼い方のマナー啓発やペットに対する災害時の備えについて啓発します。



ペットの同行避難訓練

「将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち」 成果指標

指標	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
安心・安全で快適なまちだと思う区民の割合	88.6%	90%
家庭内において災害に対する備えができて区民の割合	60.9%	100%

施策4 妊産婦・子育て家庭が安心して子育てできるよう支援します

現状・課題

- 熱田区の令和5年の出生数は416人と近年、減少傾向にある（前年比－38人）
- 区の人口に占める若年層（0～14歳）の比率は、ほぼ横ばいに推移している
- 地域で行われている子育て交流会や育児で困ったときの相談先、保育所に関する情報など、子を産み育てていくために必要となる情報は多種多様となっている
- 核家族化や夫婦共働きによるライフスタイルの変化、地域とのつながりの希薄化などによる子育ての不安感や負担感の増大、育児の孤立化が問題となっている

取り組み内容

妊娠期からの支援

母子健康手帳をお渡しする際や新生児・乳児家庭訪問などの機会を通じて、子育ての相談や情報提供を行います。



子育て支援に係る情報発信

子育て家庭が知りたい情報を、チラシやウェブサイト、SNS、出張説明会などさまざまな方法で発信します。



子育ての仲間づくり

育児の不安や悩みを一人で抱え込まないように親同士の仲間づくりと地域での子育てを支援します。



0歳のための子育て教室



地域子育て支援センターをご存じですか？

子育ての悩みや不安を一人で抱えてしまいがちな保護者同士が気軽に集うことができ、思いを共有することで明るく楽しく子育てができるよう地域全体として支援する場です。

【実施内容】

- 子育て親子同士の遊びや交流
- 保育士や看護師への相談

【熱田区の地域子育て支援センター】

- 高蔵保育園 ● のぎく保育園
- （令和6年4月現在）

施策5 子どもや若者が健やかに成長できるまちづくりを進めます

現状・課題

- 少子化やライフスタイルの変化に伴い、子ども同士の交流の場や地域の人と接する機会が減少している
- インターネットやSNS等の不適切な利用によるトラブルが社会問題となっている
- 児童虐待の発生を予防するには、虐待通告や相談に迅速に対応するとともに、関係機関と密に連携していくことが重要である
- 子どもが健全に成長・発達し、豊かな人間性や社会性を身につけるための環境づくりを、保護者、地域、行政などが協働して推進していくことが必要である

取り組み内容

児童虐待の防止

児童相談所、警察、学校、保育所、地域、医療機関などと迅速に情報共有を図り、児童虐待の発生予防及び早期発見・早期対応に努めます。



児童虐待防止のシンボルマーク
オレンジリボン

5月と11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、広報・啓発を実施

青少年健全育成の推進

命について学ぶ思春期セミナーや子ども会活動、地域の世話やき活動、インターネットの適正利用の啓発などを通じて青少年の健全育成を推進します。



思春期セミナー



こんな時はすぐにお電話を！

● 虐待対応ダイヤル

189（いちはやく）

児童虐待かな？と思ったらご連絡ください。

● なごやっ子SOS

子育てに悩む保護者や子ども自身のSOSに応えます。

052-761-4152

（24時間365日相談対応）



「地域の子どもは地域で守り育てる」 地域の世話やき活動

年間を通じて地域の皆さんと協働で登下校時や夜間のパトロール活動を行い、「声かけ」と「見守り」を実施しています。

「地域の世話やきおじさん・おばさん」を見かけたら、お気軽にお声がけください。



施策6 地域や関係機関などと連携して地域福祉を推進します

現状・課題

- 高齢者の親とひきこもりの単身・無職の子が同居している「8050問題」など、複合的な生活課題を抱えている世帯や、制度のはざまに孤立している世帯など、既存の対象者別支援では十分に対応できない事例が増加している
- 他区と比べて人口の流動が少ないため、昔からの顔なじみがいるなど比較的地域のつながりが残っているが、少子化・高齢化や核家族化などの進行により、子育て、介護、災害への備え、高齢者の孤立などの課題が顕在化しており、解決や改善に向けた地域での一層の支え合いが不可欠である

取り組み内容

包括的相談支援体制の構築

高齢者・障害者・子どもなどの属性や相談内容を問わない包括的な相談支援体制を構築します。



つながりづくりの拠点「にばん荘ハウス」

地域福祉活動の支援

住み慣れた地域で安心して幸せに暮らしていけるよう、互いに支え合い、助け合う仕組みづくりを進めます。



地域支えあい活動

施策7 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます

現状・課題

- 高齢化の進行に伴い、支援を必要とする高齢者は年々増加している。団塊の世代が75歳以上になる令和7(2025)年以降は、医療や介護の需要はさらに増加する見込みである
- 認知症高齢者の数も今後増加が見込まれており、令和7年には平成24年に比べ51.4%増加すると予測されている。また、いきいき支援センターに寄せられる認知症に関する相談も深刻化している
- 高齢になっても自分らしく暮らすことができるよう、社会の担い手として活躍できるような環境づくりの必要性が増している。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、さまざまな活動自粛が長期化したことによる心身への影響が懸念される

取り組み内容

地域包括ケアシステムの推進

高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを安心して続けられるような支援体制を推進します。



高齢者の仲間づくりや社会参加

高齢者の外出のきっかけづくりや仲間づくりの場を充実させ、社会参加を支援します。



8050問題など、複合化・複雑化した生活課題について

近年、地域の繋がり希薄化や家族構造の変化や多様化により、生活課題が複雑化しています。例えば、

- 高齢の親と中高年の子の世帯で、子のひきこもりや経済的自立等の生活課題がある(8050問題を抱えた世帯)
- 親の介護と子育てを同時に行っており、負担や孤立を感じている(ダブルケア)
- 18歳未満の子が家族の介護や世話をしている(ヤングケアラー)

などが挙げられ、単一の専門分野や支援だけでは十分に対応できない事例が増加しています。こうした複合的な課題に対応できるように、包括的な相談支援体制の構築が必要とされており、本市でも現在、体制の整備をすすめています。



なごやかクラブ熱田(老人クラブ)をご存じですか？

なごやかクラブ熱田(老人クラブ)とは、おおむね60歳以上の方による自主的な組織です。高齢者が生きがいを持ち、健全で豊かな生活を送り、社会での一員として役割を果たすことなどを目的として活動しています。なごやかクラブ熱田では「グラウンド・ゴルフ大会」や「ウォーキング大会」、「芸能のつどい」など、さまざまな行事を行い、みなさんの健康づくり・仲間づくりにつなげています。ご興味のある方はお気軽に老人クラブ事務局(区役所福祉課内)までご連絡ください。

TEL 052-683-9900



施策8 障害者が自立した生活や社会参加ができるよう支援します

現状・課題

- 「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会」の実現のため、障害のある人が社会の一員としてさまざまな活動に参加できる地域づくりが必要である
- 障害のある人で将来働きたいと考えている人を対象とした調査では、6割の人が「会社や職場の人たちの理解」が必要と回答している（令和元年度名古屋市障害者基礎調査）ことから、障害者の社会参加を支援するためにはより一層の障害への理解促進が求められる
- 障害のある人が福祉事業所などで製作した授産製品は、販売機会が少ないことや、認知度が低いことなどが課題となっている

取り組み内容

熱田区障害者自立支援連絡協議会と協働し、障害者の自立支援と社会参加及び障害に対する理解の促進を図ります。

障害についての理解促進

さまざまある障害の特性について正しい理解を深めるため、障害を体験する講習会や障害者スポーツの体験会などの啓発活動を実施します。



授産製品の販売促進

障害のある方の自立生活を支援するため、区民まつりなどのイベントや区役所で授産製品を販売する機会をつくり、認知度の向上を図ります。



熱田区内の福祉事業所で扱っている授産製品を紹介しています。



施策9 誰もがいきいきと暮らせるよう健康づくりを推進します

現状・課題

- 人口は16区の中で最小であるが、高齢化率(26.9%)は16区の中で5番目に高く、高齢者のひとり暮らしの割合(20.1%)は4番目に高い(令和5年10月1日現在)
- 健康寿命*について、16区の中で男性は9番目、女性は8番目となっている。(令和3年度)
(男性:名古屋市80.01歳、熱田区79.92歳 女性:名古屋市84.51歳 熱田区84.66歳)
*健康寿命:本市介護保険の情報に基づく「日常生活動作が自立している期間の平均」
- 特に高齢者を中心として、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、さまざまな活動自粛が長期化したことによる心身への影響が懸念される
- 区民の健康寿命の延伸のためには、従来の健康づくりの取り組みに加え、フレイル(虚弱状態)という概念の理解促進と予防啓発などの取り組みを実施することが重要である

取り組み内容

健康づくりの推進

健康寿命を伸ばすために、心身の健康づくりに関する情報提供や専門職によるこころの健康相談を充実させます。

また、世代間交流や仲間づくりをしながら身近な場所で継続して健康づくりが行えるよう支援します。



あつた健康講座

「将来像2 人が支え合い、自分らしく暮らせるまち」 成果指標

指 標	基準値(令和5年度)	目標値(令和10年度)
子育てがしやすいまちだと思う区民の割合	82.5%	85%
子どもや若者が安心して健やかに成長できるまちだと思う区民の割合	85.5%	90%
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	6,821人	8,500人
授産製品を購入したことがある区民の割合	30.4%	35%
健康づくりに取り組んでいる区民の割合	72.6%	80%

施策10 学びやスポーツを通じた生きがいづくりを支援します

■現状・課題

- 人生100年時代を迎え、心身ともに健康に過ごすため、誰もがいつまでも「生きがい」を実感し、生活することができる社会の実現が求められている
- 令和8(2026)年の第20回アジア競技大会と第5回アジアパラ競技大会の開催などにより、スポーツに対する関心が高まっていくことが予想される
- 価値観やライフスタイルの多様化、少子化・高齢化により、展覧会や大会等への参加者の減少や担い手不足が課題となっている

■取り組み内容

文化活動の振興

地域の文化団体の活動を支援するとともに、誰もが気軽に文化に触れることができる機会をつくります。



スポーツの振興

地域のスポーツ団体と協働し、幅広い世代が参加できる各種スポーツ大会や教室等を開催します。



ユニバーサルスポーツってなんだろう？

みなさんは「ユニバーサルスポーツ」という言葉を聞いたことはありますか？

ユニバーサルスポーツとは、

- ①年齢、性別、障害の有無やスポーツの得意、不得意にかかわらず、だれもが一緒に参加できる
 - ②参加したすべての人に勝者になる可能性があるという二つの要件を満たしているスポーツのことです。
- 令和3(2021)年の東京2020パラリンピック競技大会で行われた「ボッチャ」という競技もこのユニバーサルスポーツの一つです。



区役所でも道具を貸し出していますので、ぜひご利用ください。

施策11 地域のふれあいや交流を深めるまちづくりを進めます

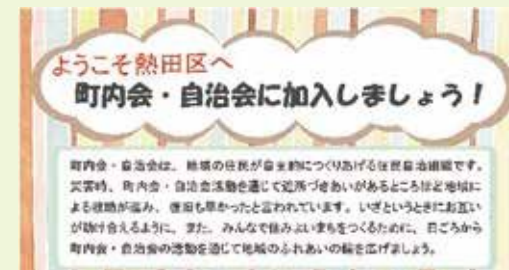
■現状・課題

- 少子化・高齢化の進行や人口減少社会の到来、生活様式の多様化、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、地域のつながりが希薄化しつつある
- 一方で、いつ発生してもおかしくない大規模地震に備え、地域における助け合いの仕組みが必要とされている
- また、日常生活においても、ひとり暮らし高齢者の見守りや防犯対策、子どもの見守りなどの地域のつながりが必要とされている

■取り組み内容

地域コミュニティ活性化の支援

地域のために活躍している町内会・自治会などの地域団体の必要性や重要性を訴え、地域活動への参加を促します。



区民とのにぎわいや交流のあるまちづくり

「区民まつり」など区民相互のふれあいと交流の場や多様な主体によるまちづくりの取り組みを支援します。



区民まつり「にぎわい秋まつり」



町内会・自治会に加入しましょう

夜道を明るく照らす防犯灯 登下校を見守ってくれる地域の方々
いつも綺麗な公園

こんな日常の当たり前は、町内会や自治会などの住民同士による自治組織によって維持されています。

「自分たちの暮らしのために、できることをみんなで少しずつ協力しあおう」

そんな地域のつながりが、災害時の助け合いや迅速な復旧にもつながります。

■町内会・自治会への加入を取り次ぎます。

- 区役所1階に設置の受付ポスト
- メール a6839421@atsuta.city.nagoya.lg.jp
- FAX 052-683-9494
- 名古屋市電子申請サービス



電子申請はこちら



(動画)もしも町内会がなくなったら…



3 区内公所(署)との連携

熱田区では、区内の各公所(署)が相互に連携することで、より迅速・柔軟に区政を推進できるよう、「区政推進会議」を組織しています。

熱田区をよりよいまちにしていくなために、それぞれが所管する各分野の事業を着実に進めるとともに、区のめざす将来像の実現に向けて連携・協力して取り組んでいきます。

〈熱田区区政推進会議に所属する区内公所(署)が実施する施策の概要〉

■熱田警察署

- 暴力団の壊滅を目指し、暴力団に対する取締りの徹底と資金源となっている特殊詐欺に対する取締りを推進します
- 交通死亡事故を抑止し、減少傾向を定着させるため、通学児童の安全確保、幹線道路における事故防止及び高齢者、自転車利用者の事故抑止活動を推進します
- 特殊詐欺、侵入盗、自動車盗を中心に県民の身近で発生する犯罪の検挙、抑止活動を推進します



■熱田消防署

- 戸別訪問や家具転倒防止ボランティアの派遣など自助力を高めるための地域防災マネジメント事業を推進します
- 住民参加型の防火防災活動や地域と事業所との覚書締結、自主防災組織の活動支援など防災安心まちづくり事業を推進します
- 高齢者世帯への防火指導、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の普及促進など火災予防体制を充実します
- 消防隊・救急隊の活動能力を強化するとともに、大規模災害に備えた消防隊と消防団との連携強化を推し進めます
- 市民の方への、AEDを含む救命講習により応急手当の普及啓発を推進します



■熱田土木事務所

- 道路、公園、河川などについてパトロールや点検、補修工事を行い、危険個所の早期発見と適切な維持管理につとめ、市民の安心・安全な生活を支え続けます



■熱田環境事業所

- 保健環境委員を中心とした地域と連携して、市民の分別意識のさらなる向上に向けて取り組みます
- 有用な金属を資源として有効利用するため、区役所、環境事業所等の拠点で小型家電の回収を行います
- 本市プラスチック削減指針に基づき、効果的な啓発・情報発信を実施し、持続可能なプラスチックの利用を推進します



■金山市税事務所

(担当区域:熱田区・昭和区・瑞穂区・南区・緑区・天白区)

- 市税の課税事務(課税に関する調査や納税通知書の作成等)や、徴収事務(市税の収納、納税相談等)を実施しています
- 所得証明書などの税務証明書の発行や申告書の受付などは、熱田区役所の税務窓口においても実施しています



■熱田区小中学校長会

(熱田区内の小・中・特別支援学校の校長で構成)

- 「子ども中心の学び」を推進することで、自律して学び続ける子を育成し、すべての子どもが自分らしく生きていくことができることを目指します
- 学校・家庭・地域が共に、子どもの豊かな育ちを応援するために良好な教育環境を整備します



■上下水道局西部営業センター・西部管路センター

- 上下水道施設の維持管理を適切に行うとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めることで、安心安全な上下水道サービスを提供します
- 大規模地震に備え、飲料水の備蓄啓発や地下式給水栓の操作訓練を地域と協働して行うなど、防災意識の啓発に取り組みます
- 大雨に備え、雨水桝清掃を実施し浸水被害の軽減を図るとともに、雨水(あまみず)情報などの市民の命を守るための防災情報の周知といった自助・共助の啓発に努めます



■熱田図書館

- 熱田の歴史資料を活用した行事や展示、子ども読書活動などを通じて、利用促進をはかります



■熱田区社会福祉協議会

- 第5次熱田区地域福祉活動計画を指針として、ふれあい給食サービスやふれあいいきいきサロン、地域の支え合い事業などの地域福祉活動を推進します
- デイサービスセンターや訪問介護事業、居宅介護支援事業により在宅サービスを推進します
- いきいき支援センターを運営し認知症高齢者と家族向けの相談や教室、介護予防支援などを実施します



■交通局名城線運転区

- 市民や利用者の皆さまにとって身近で利用しやすい交通手段として、安全・安心な輸送サービスの提供に取り組めます。



■交通局鳴尾営業所

- 事故や運行ミスの防止に努め、誰もが安心して利用できる市バスを目指します
- 水素を燃料とし、走行時に温室効果ガスや大気汚染物質を排出しない燃料電池バスの試行導入を行っています



■熱田文化小劇場

- 区民が文化芸術に触れることのできる機会を提供し、下記の事業を実施します
- 地域の方が気軽に鑑賞、参加、出演できる事業
- 子どもたちが文化芸術に親しむ事業
- 熱田神戸節をはじめ地域の伝統文化を紹介する事業



■熱田生涯学習センター

- 地域の生涯学習の拠点として、なごや学や青少年育成、趣味実技などの講座や事業を開催し、学習機会を提供します
- 自主学習グループの発足や運営を支援し、学習成果の発表や交流の場として生涯学習まつりを開催します
- 生涯学習に関する情報提供や自主学習グループの活動紹介、学習相談を実施します

